

JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	金丸 恵美	学校名	東京都・道・府・県 八丈町立三根学園富士中学校
担当教科等	道徳・国語 総合的な学習の時間	対象学年（人数）	2年 A組（28名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年 9月 ～ 12月（5時間）		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域※教科、総合的な学習の時間など。：道徳・国語・総合的な学習の時間	
2. 単元(活動)名※教科書等の記載を参考に記入ください。：道徳（C-16 郷土愛，C-18 国際理解教育） 国語（「話し合って他の意見や考えを受け入れ考えを広げよう」）・総合的な学習の時間（キャリア教育）	
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ※評価規準を意識して設定ください。： 「八丈島をよりよくするために—今すべきこと—」というテーマで話し合おう 単元目標※教科書等の記載を参考に記入ください。： 話し合って考えを広げよう 関連する学習指導要領上の目標※学習指導要領から引用ください。： 相手の意見や考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。	
4. 単元の評価規準	①知識及び技能 ・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。(情報)
	②思考力、判断力、表現力等 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、検討すること。(話すこと・聞くこと) ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。(話すこと・聞くこと)
	③学びに向かう力、人間性等 ・友達の意見と比較することで、自分のものの見方、考え方を深め、広げようとしていること。
5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 昨年度は「地域と共に生きる～八丈島の魅力を観光客に紹介しよう～」というテーマで、島民ならではの視点で故郷の魅力をアピールするスピーチを行った。それを受けて、本単元では、故郷の課題を解決するというテーマを設定した。 【単元の意義】 生徒たちに、恵まれない環境でも一生懸命生きている開発途上国の子供たちの姿を伝え、生徒一人一人に自信をもたせる。さらに、開発途上国が先進国日本より優れている点を紹介することにより、人間関係が希薄である「東京」に比べ、人間味あふれる島民の温かさに気づかせ、故郷に誇りを抱かせる。 【児童/生徒観】 現任校の生徒たちは、島外に目を向け、新しいことにチャレンジし、自分の可能性を広げようとせず、島内の限られた選択肢の中で進路先を決める傾向がある。また、内地の都心を「東京」と呼び、物質的に恵まれていない故郷の島にコンプレックスを抱き、自己肯定感が低い生徒が多いのが現状である。 【指導観】 「島民ならではの視点」と「持続可能な視点」の二つの観点で、ワールドカフェ方式で話し合い、多様な意見を導き出す。SDGs や開発途上国の現状、国際協力について学習してきたことが活かされた、故郷の課題解決案が考えられるようにする。

6. 単元計画（全5時間）

※全体の総時間数や「**本時**」の記入場所は適宜変更ください。ただし、4時間程度を目安に長くなり過ぎないように計画ください。

時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など ※：JICA リソース 活用はこちらに記載
1	道徳科 B－（9） いろいろな物の見 方や考え 方がある ことを理 解する。	SDG s の目標を全世 界が達成したら、地球 はどのように変わるの だろうか。 （身近なものから、地 球が一つであることを 実感しよう）	<ul style="list-style-type: none"> SDG s の目標を確認する。一つの国だけががんばったり、100%を目指さなかったりしたらどうしてダメなのか、考える。 JICAカードゲーム『モノはどこからきているの？』を使って、身近なものが実は海外からの輸入に頼っている事を理解する。 地球が一つであることを実感した体験から、SDG s の目標を全世界が達成したら、地球はどのように変わるのか、自分なりの考えをノートに書く。 	JICAカードゲーム『モノはどこからきているの？』
2	道徳科 C－18. 国際理解教 育 C－17. 郷土を愛す る態度	開発途上国の新しい視 点を知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 「開発途上国」に対するイメージを発表する。 アフリカのザンビアという国の説明を聞き、日本より優れている点を理解する。 八丈島が「東京」より優れている点を発表する。 	リビングストーン の観光パンフレット （シニアボランティ ア横山敬子さん作 成）
3	道徳科 A－4 希望と勇 気、克己と 強い意志	ザンビアの子供たちに 共通するものは何か考 えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 孤児院の子供たちのインタビュー映像を見る。 孤児院の子供たちの逆境に負けない前向きな姿はどんな気持ちからくるものなのか、考える。 今後の生活にどのように活かしていくか、発表する。 日本の子供たちに向けたメッセージ映像を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの写真 （研修で入手した素 材） インタビュー動画 （孤児院の子供た ち）
4	総合的な学 習の時間 キャリア教 育 道徳科 C－12 社会参画 公共の精神	協力隊の活動を知ろ う。	<ul style="list-style-type: none"> 宿舎の様子や食べ物などの写真を見て、たった一人で地域の活動に従事する協力隊の姿を知る。 先進国の価値観を押し付けるのではなく、開発途上国の良さを生かした援助の方法を学ぶ。 先進国の力で復興させるのではなく、現地の人を育てることで復興につなげる、持続可能な援助の方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 協力隊の日々の様 子の写真 協力隊のインタビ ュー動画
5 本時	国語科 「話し合っ て他の意見 や考えを受 け入れ考え を広げよう」	「八丈島をよりよくす るために—今すべきこ と—」というテーマで 話し合おう。	<ul style="list-style-type: none"> SDG s の視点で現在課題となっている八丈島の問題を挙げる。 ワールドカフェ方式で話し合い、多様な意見を出し合い、自分の意見を広げる。 課題解決策を前時の協力隊の活動から学んだ持続可能な援助の方法を参考にし、中学生でもできる解決策を話し合いまとめる。 	『共につくる私たちの未来』（JICA 地球ひろば）

7. 本時の展開（5時間目）			
<p>本時のねらい：「八丈島をよりよくするために—今すべきこと—」というテーマで話し合おう。</p> <p>※1: 過程の「導入」・「展開」・「まとめ」は適宜変更下さい。</p> <p>※2: 「本時の展開」を複数時間分作成されても構いません。その場合、「7. 本時の展開」および「8. 評価基準に基づく本時の評価」を複製・追加して記入ください。</p>			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料(教材)
<p>導入</p> <p>(5分)</p>	<p>○ 「八丈島をよりよくするために—今すべきこと—」に対して、他の班員との意見を比較し、自分の考えを広げる。本時の学習の目標を確認し、授業の見通しをもつ。</p> <p>○ 前時に決めた班の課題を確認する。</p> <p>1 班…SDGs8 八丈島の認知度を上げるには？</p> <p>2 班…SDGs12 ごみ処理の問題</p> <p>3 班…SDGs4 体育館にエアコンを設置</p> <p>4 班…SDGs15 外来種から島民のくらしと自然を守る</p> <p>5 班…SDGs14 海洋プラスチックごみ</p>	<p>・聞き手は、「島民ならではの視点」「持続可能な支援」という二つの観点で評価することを確認する。</p> <p>・班の話し合いの方法を、町役場で行われた SDGs グラフィックレコーディングワークショップを例に、説明する。</p> <p>・ワールドカフェの話し合いの中で、班長以外の班員は、どの班の発表を聞かか、分担を決めさせる。</p>	<p>資料(教材)</p>
<p>展開</p>	<p>○ 生活班（5，6人）で決めた課題に対する解決策をまとめる。</p> <p>・個人の意見を付箋に書き出し、どこでもシートに貼っていく。（1人3枚以上）</p> <p>○ ワールドカフェ方式で、発表者（班長）以外の班員はそれぞれ他の班に移動し、各班で話し合った情報を共有する。</p> <p>・「島民ならではの視点」「持続可能な支援」</p>	<p>・どこでもシートに、なるべく多く班員の考えを書き込み、つなげさせる。</p> <p>・南海タイムス（地元新聞）や『共につくる私たちの未来』（JICA地球ひろば）、道徳ノート、八丈町基本構想・基本計画を参考にさせる。</p> <p>・「島民ならではの視点」「持続可能な支援」という二つの観点で、班の解決策をまとめる。</p> <p>・グループごとに情報を共有し、ワークシートに記入させる。</p> <p>・どこでもシートを壁に貼り、班長が他の班の人に発表させる。</p>	<p>・「どこでもシート」</p> <p>・ペン</p> <p>・南海タイムス（地元新聞）</p> <p>・『共につくる私たちの未来』（JICA地球ひろば）</p> <p>・八丈町基本構想・基本計画</p>

<p>(35分)</p> <p>まとめ</p> <p>(10分)</p>	<p>○生活班に戻り、他の班で得た情報を共有する。</p> <p>・他の班の発表の良かった点、他の班員から出たアドバイスなどを、ワークシートに書く。</p> <p>○本時の授業を振り返り、目標が達成できたかを確認する。</p> <p>・自分の班の解決策を200字にまとめる。</p>	<p>・自分の意見と比較することで、多様な表現方法があることを理解し、自分の班の発表で活かしたいことを書かせる。</p> <p>・二つの観点で指摘された改善点から、自分たちの考えた解決策と改めて向き合あわせる。</p> <p>・他の班の発表やアドバイスをもとに改善し、よりよい解決策を導き出させる。</p> <p>・作文の構成を確認する。</p> <p>第1段落…私たちの班のテーマは～です。</p> <p>第2段落…初めは～という解決策でした。</p> <p>第3段落…他の班のアドバイスを受けて、～のように改善されました。</p>	
--------------------------------------	---	---	--

8. 評価規準に基づく本時の評価方法

- ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。〈知識及び技能〉(情報)【観察】
- ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、検討している。〈思考力、判断力、表現力等〉(話すこと・聞くこと)【観察・どこでもシート】
- ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。〈思考力、判断力、表現力等〉(話すこと・聞くこと)【観察・200字帳】
- ・友達の意見と比較することで、自分のものの見方、考え方を深め、広げようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉【観察】

9. 学習方法及び外部との連携

八丈島内の小中学校6校における国際理解教育に、JICAの国際理解教育のためのプログラム教育「国際協力出前授業」を各校の来年度の教育課程に組み込む予定。

※授業実践に関連して連携した人(ゲストティーチャーなど)や関係団体があれば、連携に至る背景や、連携による効果(学びの深まりなど)と併せて記入してください。

※ゲストティーチャーや教員、学習者同士の関係性として重視したことがあれば記入してください。特に学習者同士の交流が生まれる学習方法・技法(アクティビティなど)を用いる場合は、その意図や効果を記入してください。

<p>10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修における教職員対象の報告会の実施。 ・八丈町役場企画財政課主催の「SDGs グラフィックレコーディングワークショップ」に参加。「10年先の島を想う」というテーマで、SDGsの観点から来年度策定予定の次期基本構想を島民同士で話し合った。ワークショップの目的は、以下の5つである。 <ul style="list-style-type: none"> ①SDGsの価値を理解する ②課題解決に向けた未来ビジョンの想像 ③八丈町の価値化認識 ④多様なパートナーシップによる協働意識の醸成 ⑤創造的な基本構想案のモチベーション ・ユネスコスクールへの加盟申請（2019年11月～チャレンジ期間） <p>ASPUnivNet 支援大学 成蹊大学サステナビリティ教育研究センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八丈島出身の青年海外協力隊とのネットワークの構築
--

【自己評価】

11. 苦勞した点	<p>※学習活動が展開する中での苦勞や、そこで見えてきた問題点を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ザンビア」という聞いたこともない国のことについて、興味を抱かせ、自分事として考えさせること。 ・SDGsという地球規模の考えを身近な問題として捉えさせること。 ・中学生でも故郷の問題に向き合い、解決できる力があることを実感させること。
12. 改善点	<p>※授業実践を再度実施することや、他の学校で追試する場合を想定して、改善点を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを「八丈島」と限定してしまったので、他の地域の学校の実践が限られてしまう。 ・今回の授業が生徒一人一人の主体的な活動にまでつなげられなかったので、次年度の課題としていきたい。 ・班内の話し合い活動の方法を事前に伝授しておくべきだった。個で考えた意見をKJ法などでまとめたり、班を移動した後に班長を司会に話し合いがスムーズに流れたりできるよう指導しておくべきだった。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・開発途上国の問題を自分事として考えられるようになり、感想文の内容に変化が見られたこと。 ・故郷の問題解決案として、海洋プラスチックごみを減らすため、ゴミ箱も天然素材のものにするなど、中学生らしいアイデアが自然と出てきたこと。 ・英語科の授業とタイアップして、ザンビアの子供たちに英語で手紙を書く活動を行うことができ、同僚からも理解と協力が得られたこと。 ・実践授業に町議員の方、都立高校の教員の方などが来られ、中学生によるSDGsの活動を島内に広めることができたこと。 ・今回の授業が生徒たちにとって、開発途上国だけではなく、故郷である八丈島を知ろうというきっかけになったこと。 ・身近なテーマから多様な考えを導き出し、生徒全員の意見を話し合いに活かすことによって、自分の意見に対する自信をもたせることができたこと。

<p>14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<p>※この単元における学習者の変容が読み取れるものを選択してください。教員が「このように変容した」と見取りを記述することも可能ですが、できる限り学習者本人の言葉や作品で示していただくことにより、具体性・説得性の高いものになります。</p> <p>「開発途上国から私たちが学ぶべきこと」</p> <p>私たちが学ぶべきことは、人と人とのつながりが、いかに大切かということだと思います。外国人の人たちは、「日本人は優しい」と言うけど、私たち日本人からすれば、そんなことはありません。</p> <p>外国には、薬物に手を出してしまう子供、十分な食事がとれない人などが沢山います。だからこそ、みんなで協力したりと、人と人とのつながりが必要なのだと思いました。他にも、考え事をするために一人になったりすることがあるけど、それはあまり心に良くないということを初めて知りました。しかし、一人が良くないということは、いじめを受けて自殺をしてしまう人は、いじめのつらさと、一人ということのつらさで、自殺をしてしまうのではないかと考えられます。そうすると、一人でいることが心にとっても良くないのがわかります。だから、人と人とのつながりで、薬物に手を出してしまう子供や、いじめなどを止められることができ、少しでも多くの人を助けることができるから、人と人とのつながりがいかに大切なのかがわかりました。</p>
<p>15. 授業者による自由記述 (教師海外研修に参加した本学習指導案作成者として、他の教員へのメッセージなど)</p>	<p>今回の研修では、個人旅行では味わえない体験をさせていただいたことに感謝しています。</p> <p>まず、JICAのご協力により、現地の人々と同じ目線で活躍されている青年海外協力隊の方々のお話を聞く機会をいただき、現地の実情を目の当たりにすることができました。</p> <p>次に、異校種、他県からの教員のメンバーと共に研修を受けることによって、多様な面からザンビアについて考えることができました。</p> <p>今後も以上のようなネットワークを活かして、国際理解教育に携わっていきたいと思っています。</p>

参考資料：南海タイムス（発行所 南海タイムス社）2019年度版
八丈町基本構想・基本計画（平成28年～32年）
東京都八丈町勢要覧（2017年）

※単元を構想、授業実践する上での教員または学習者のための参考資料、ウェブサイト、データリソースなどを紹介してください。

※他の教員でも授業実践できるよう、**本時**で使用した資料（ワークシートパワーポイント、写真、動画などのデータ）を、別添にて必ずご提出ください。